１．化学品及び会社情報

会社名　：出光NTG株式会社

住所　：212-0013　神奈川県川崎市幸区堀川町580番地　ソリッドスクエア東館15階

電話番号　：+081-44-386-1659

ＦＡＸ番号：+081-44-386-4159

緊急電話番号　：+81-78-731-8147

用途　：防錆剤

整理番号：424902103

２．危険有害性の要約

＜GHS 分類＞

(物理化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

（健康に対する有害性）

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分１
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分１
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分２
生殖毒性	区分２
授乳に対する／授乳を介した影響	分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分１（肝臓）、区分２（呼吸器系、腎臓）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分１（気道、精巣）区分２（肝臓、腎臓、血液）
誤えん有害性	分類できない

（環境に対する有害性）

水生環境有害性　短期（急性）	区分２
水生環境有害性　長期（慢性）	区分３
オゾン層有害性	分類できない

＜ラベル要素＞

（絵表示／シンボル）

（注意喚起語）　危険

（危険有害性情報）

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。

重篤な眼の損傷。

発がんのおそれの疑い。

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。

臓器の障害（肝臓）。

臓器の障害のおそれ（呼吸器系、腎臓）。

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（気道、精巣）。

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（肝臓、腎臓、血液　）。

水生生物に毒性。

長期継続的影響により水生生物に有害。

（注意書き）

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

子供の手の届かないところに置くこと。

使用前にラベルをよく読むこと。

安全対策（予防策）：

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

容器を密閉しておくこと。

粉じん/煙/ガス/ﾐｽﾄ/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ﾐｽﾄ/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱後は．．．手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

呼吸用保護具を着用すること。
涼しいところに置き、日光を避けること。
応急処置（対応）：
ただちに医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露した場合：医師に連絡すること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
ばく露したとき、または気分が悪い時：医師に連絡すること。
保管（貯蔵）：
施錠して保管すること。
廃棄：
内容物/容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

化学名又は一般名	濃度(%)	化審法、安全衛生法
ジエタノールアミン	３０～４０	対応済み
他	残	対応済み

４．応急措置

「２．危険有害性の要約－ラベル要素－注意書き―応急処置（対応）」を参照。
医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。
吸入した場合：
空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
皮膚（または髪）に付着した場合：
多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合：
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

無理に吐かせないこと。

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

５．火災時の措置

適切な消火剤:

粉末消火器。 二酸化炭素消火器。 泡消火剤。

使ってはならない消火剤：

棒状注水

特有の消火方法:

人々を避難させる。火を隔離して関係者以外の立ち入りを禁止する。火が消えて再発火の危険がなくなるまで、火に曝された容器および火災の影響を受けた領域を冷却する。保護された場所から、あるいは十分に安全な距離から消火に当たる。

消火を行う者の保護の特別な保護具及び予防措置：

自給式呼吸装置および防火服(防炎ヘルメット、コート、ズボン、長靴および手袋を含む)を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置:

適切な保護具を用いること。「8. ばく露防止及び保護措置　保護具」を参照。

環境に対する注意事項:

土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。

封じ込め及び浄化方法と機材:

（大規模の漏洩） 漏出物を囲い込むため堤防を築く。正しくラベルの貼ってある適切な容器にポンプで送る。

（少規模の漏洩） 以下の物質で吸収させる（不燃性物質、 砂)。 正しくラベルの貼ってある適切な容器に回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

＜取扱い＞

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

技術的対策:

「２．危険有害性の要約－ラベル要素－注意書き―安全対策（予防策)」を参照。

適切な換気をすること。

粉じん/煙/ガス/ﾐｽﾄ/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

接触回避：「１０．安定性及び反応性」を参照

局所排気・全体換気：

「8. ばく露防止及び保護措置」の排気装置を参照。

注意事項：

漏れ，あふれ，飛散を防ぎ，みだりに蒸気を発散させない。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

安全取扱い注意事項：

容器は転倒させ，落下させ，衝撃を加え，または引きずる等の取扱いをしてはならない。

＜保管＞

技術的対策：

保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

安全な保管条件：

「２．危険有害性の要約－ラベル要素－注意書き―保管（貯蔵）」を参照。

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に、密封して保管する。

酸化性物質等との同一の場所で保管しないこと。

法規に規定された基準に従って保管する。

子供の手の届かないところに置くこと。

安全な容器包装材料：

耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

輸出する場合は、国連輸送法規で規定されている容器を使用する（「１４．輸送上の注意」参照）。

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策:

(換気)局所排気装置や他の排気装置を使用して、気中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、通常の作業は全体換気を行うことで十分である。一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

管理濃度：「１５．適用法令」の「労働安全衛生法（作業環境評価基準）」参照

許容濃度：

日本産業衛生学会(2010)：	設定されていない。
ACGIH(2011):	ジエタノールアミン　TWA:0.2ppmIFV 1mg/m3IFV Skin

保護具:

呼吸器用の保護具: 適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具: 適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具: 適切な保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護服、保護長靴を着用すること。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色(代表値):	無色液体
臭い:	臭気あり
pH（20℃,代表値）　:	10.9
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
蒸気圧:	データなし
比重（密度）（20℃、代表値）:	1.07
自然発火温度（発火点）：	データなし
可燃性	データなし
動粘性率	データなし

相対ガス密度　　データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性：

推奨される保管条件下で安定している。第 7 項、保管を参照。

危険有害反応可能性：

「混蝕危険物質：」と反応する。

避けるべき条件:高温。

混蝕危険物質:強酸、強酸化剤、無水物

危険有害な分解生成物:

分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。

火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。

燃焼/分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない：窒素酸化物、 一酸化炭素、 二酸化炭素。

反応性：データなし

１１．有害性情報

急性毒性(経口)：　ATEmix＞2000mg／kg
（代表成分よりの推定値。混合物の 10%以下は毒性が未知の成分からなる。）

急性毒性（経皮）：　ATEmix＞2000mg／kg
（代表成分よりの推定値。混合物の 10～20%は毒性が未知の成分からなる。）

急性毒性（吸入：蒸気）：　データなし

急性毒性（吸入：ミスト）：　データなし

皮膚腐食性／刺激性、眼に対する重篤な損傷／刺激性、呼吸器感作性、皮膚感作性、生殖細胞変異原性、発がん性、生殖毒性、授乳に対する／授乳を介した影響、特定標的臓器毒性（単回ばく露）、特定標的臓器毒性（反復ばく露）、誤えん有害性：

「２．危険有害性の要約　健康に対する有害性」を参照。

１２．環境影響情報

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壌中の移動性：データなし

生態毒性、オゾン層への有害性：「２．危険有害性の要約　環境に対する有害性」を参照。

（本混合物の成分 10～20%は水生環境有害性が不明である。）

１３．廃棄上の注意

「２．危険有害性の要約－ラベル要素－注意書き―廃棄」を参照。

残余廃棄物：関連する法律や地方条例に従い廃棄すること。

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装：

関連する法律や地方条例に従い廃棄すること。

空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

消防法：	「１５．適用法令」参照
毒物劇物取締法：	「１５．適用法令」参照
Marine pollutant（海洋汚染物質）：	該当しない

輸送前に容器の破損・腐食・漏れ等がないことを確認する。転倒・落下・破損が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。「７．取扱い及び保管上の注意」を参照。

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

１５．適用法令

消防法：	該当せず
毒物劇物取締法：	該当せず
海洋汚染防止法：	「１４．輸送上の注意」の「Marine pollutant（海洋汚染物質）」参照
化学物質排出把握管理促進法(ＰＲＴＲ法)：	号 626　ジエタノールアミン（含有量：「３．組成及び成分情報」の「濃度」参照。代表値　40%）(2023 年 4 月 1 日施行)
労働安全衛生法(名称等を通知すべき危険物及び有害物)：	ジエタノールアミン（含有量：「３．組成及び成分情報」の「濃度」参照）
労働安全衛生法(名称等を表示すべき危険物及び有害物)：	ジエタノールアミン
労働安全衛生法（作業環境評価基準）	該当せず
労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則）：	該当せず
労働安全衛生法(危険物・引火性の物)：	該当せず

この情報は、この製品に関わる特定の法令を全てお知らせするものではありません。

１６．その他の情報

本データシートは一般的取扱いに際しての安全な取扱いについて当社の現在の知識に基づき作成しておりますが、すべての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。使用に関する適用法令の遵守は使用者の責任です。製造会社は製品の使用条件について関知するところではありませんので、製品の安全な使用条件は、使用者の責任において決定をお願い申し上げます。また、本データシートは通常の取り扱いを対象としたもので、本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用する時は安定性の確認を行ってください。

本データシートに記載データは保証値ではありません。また掲載内容についても保証を行うものではありません。

本データシートは日本国内法規を基準に作成したものです。法令の要求事項は改正されたり、各国地域により異なることがあります。